

# 清瀬市市政施行 50周年!

清瀬市は、1970年(昭和45年)10月1日に清瀬町から清瀬市になり、今年2020年(令和2年)に市政50周年を迎えました。図書館はその4年後、1974年(昭和49年)に中央図書館が開館しました。

さて、50年前はどんな年だったのでしょうか？今回は、当時のニュースをちょっとご紹介します。

50年前(昭和45年)は・・・

大阪府吹田市の千里丘陵で日本万国博覧会(大阪万博)が開催され、6421万人が参加しました。



ケンタッキー・フライド・チキンが日本で店舗展開を始めました。



タカラトミー(旧トミー)の自動車おもちゃ「トミカ」が発売されました。



鹿児島宇宙空間観測所で国内初の人工衛星「おおすみ」が打ち上げられました。



今年は、新型コロナウイルス感染症により大変な年になってしまいました。それでも、清瀬市立図書館では皆さんに楽しんでいただけるよう、沢山の本を紹介していきます。大いにご利用ください。

# Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.41 2020.10

清瀬市立図書館

**10代から身につけたい  
ギリギリな自分を助ける方法**

**井上 祐紀／著  
KADOKAWA**



あなたは学校に行けなくて、苦しい思いをいませんか？学校に行くことが、辛いと感じていませんか？今の日本には、学校に通えていない子が約12万人いると言われています。また、家にいることを辛いと感じている子もいます。

このような悩みは、誰に相談しどうやって解決したら良いか、どうしたら学校に行けるようになるのか、その答えを見つけることがとても困難です。

この本は、そんな悩みを抱えてしまった時、どうしたら良いかがとても分かりやすく書いてあります。

今の状況が少しでも辛いと思ったら、ぜひ手に取って読んでみてください。

〈下宿図書館 廣野〉

大学、高校、中学生の兄弟三人は、突然の事故で両親を失うと同時に、二人の秘密を知ることにもなります。

駆けつけてくれた母方の祖母と母との不仲の理由。父の出生と、“もう一つの家族”の存在。残された兄弟は、投げ出したくなる出来事に悩みながらも、正面から向き合うことをあきらめません。そして、解決策を模索していく中で、父も母もみんな、家族を守るために頑張っていたんだと気づきます。

誰かの幸せのために、奮闘する姿が清々しい家族の物語です。

〈駅前図書館 鶴岡〉

**三兄弟の僕らは**

**小路 幸也／著  
PHP研究所**



約60の世界遺産を大迫力の写真とともに、それは何のために作られ、どのような物語があったのかが紹介されています。

例えば、フランスにあるベルサイユ宮殿と庭園はルイ14世の命令で建てられました。王室礼拝堂やオペラ劇場なども設けられ、貴族や従者など約4,000人が住んでいる、当時は宮殿そのものがひとつの「街」だったそうです。そして、現代のお金に換算すると約3,000億ドルもの建設費が必要だったと言われています。

このように様々な国の世界遺産にまつわる物語が、楽しく読める本です。試しに手に取ってみてはいかがでしょうか。

〈中央図書館 根岸〉

**絵本のようにめくる  
世界遺産の物語**

**本田 陽子／監修  
昭文社**



**博士の愛したジミな昆虫**

**金子 修治・鈴木 紀之・  
安田 弘法／編著  
岩波書店**



この本に登場するのは、きわだった特徴を持たないジミな虫たちばかり。カブト虫やクワガタ、アゲハも出てきません。ですが、そんなジミな虫たちも餌の食べ方や他の虫・植物との関係性など千差万別で個性的です。

「食べもの選び」「植物との深いつながり」「外来種」など5つのテーマで構成され、虫好きはもちろん環境問題に関心がある人にもおすすめです。

虫たちのこと、そしてその生き方を研究する楽しさを若い人たちに伝えたい、10人の昆虫博士たちの熱い思いが詰まった一冊です。

〈中央図書館 山口〉